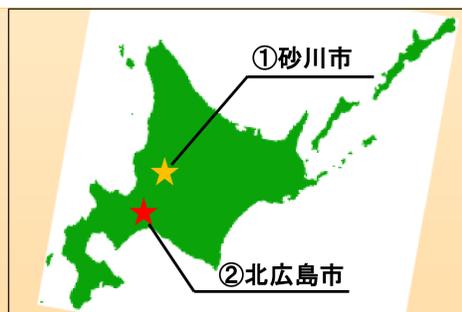


①北海道こどもの国公園（砂川市）

□事業概要

自然に親しみながら児童の夢と希望を育む場として整備された当公園も、供用開始から約50年が経過しました。近年は、施設の老朽化や新基準への適応が求められているため、安全安心に利用できることを目的とした施設更新や園路造成等の再整備を実施しています。



公園施設の一つであるピラミッドです。



ピラミッドからの眺望です。赤枠付近に園路を造成中。



路床部の出来形確認状況です。

②きたひろしま総合運動公園線（北広島市）

□事業概要

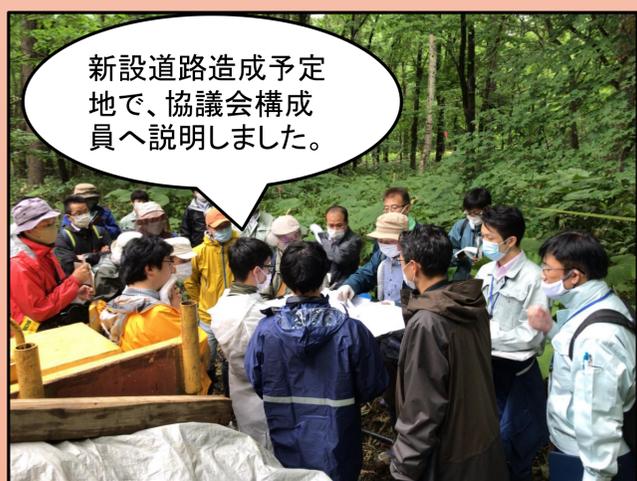
「Fビレッジ（きたひろしま総合運動公園）」の整備に伴う交通量の増加により、周辺道路で渋滞が発生し、地域の生活や円滑な物流などに影響を及ぼすことが考えられます。

当事業は、「Fビレッジ」へと連絡する新設道路を整備することで、周辺道路の交通分散を図り、安全で円滑な道路交通を確保するとともに、「Fビレッジ」へのアクセス性の向上を図ります。

□環境保全対策の実施

付近には「特別天然記念物 野幌原始林」が広がっており、貴重な動植物が生育しています。これらの保全方法等を検討するため、「道道きたひろしま総合運動公園線の環境保全を考える協議会」を設立し、令和2年5月～令和5年2月までに計10回開催。協議会での検討結果を踏まえ、施工を進めました。

私の監督工事では、改変範囲の最小化を図るため、仮橋を採用した工事用道路を造成しました。発注前三者検討会を開催し、施工工程を確保しつつも環境に十分配慮した造成範囲を決定。結果的に大幅な改変域の縮小に成功しました。土砂や資機材の搬入出において、大半の発注で仮橋を使用しており、開業に向けた路線の完成にあたり、非常に重要な工事用道路となりました。



新設道路造成予定地で、協議会構成員へ説明しました。



全道の新採職員研修で、工事説明を実施しました！



橋台の配筋検査状況です。

工事名	きたひろしま総合運動公園線	配筋出来形
工種	橋台	
撮影年月日	4月4日	
位置	A-1	
設計寸法	10@250×2,500	F2,500×475
実測寸法	10@250×2,500	F2,500×475
立会人	大村氏	



Fビレッジ

道事業としては初の、ラウンドアバウト（平面交差点の一種）を整備しました！

■ 担当する若手職員からひとこと

今年度から、道路事業に加えて公園事業も担当しております。
建築学部卒業ですが、上司、先輩や同僚職員に助けをもらいながら、日々の業務に臨んでいます。
とてもアットホームな職場です！！！！
私たちの仕事は【地図に残る仕事】です。
監督した道路や橋梁が完成したときの達成感、ほかには代えがたいものだと思います。



入庁4年目
技師 大村 慎太郎